

瀬戸内の海と山で遊びながら育った余頃さん。当時、まだ「環境」という名前がつく学科がほとんどなかった時代に、千葉大学園芸学部・環境学科に入学し、尾瀬、万座や草津など、国立公園で環境庁のサブレンジャーとして活動し、卒業後、飯山でフォレストデザインを設立する。

「里山の新しい価値を創造する」を理念として掲げるフォレストデザインで、森林整備や 丸太ローソク「ログファイヤー」の制作などの里山資源活用、「奥信濃いいやま里山体験」 ができる森林環境教育などの事業を展開する。

森林環境教育のプログラムでは、斧などの危険な器具を使うことも多いが、子どもであってもけがをしたら基本は自己責任、必要以上に道の整備をして歩きやすくすることはしないという。

人と自然がどう向きあうのか、里山はそのことを学ぶ最高の学校であり、余頃さんはまさ に奥信濃のナチュラリストであり、「里山の伝道師」なのだ。